

様式第1号（別紙）

住 宅 改 修 利 用 者 状 況 調 書

1 利用者

氏名		大正・昭和	年 月 日生	( 歳)
住所			電話	

2 身体の状況等

視 力	普通・弱視・全盲	排 泄	自分で可・一部介助・全介助
聴 力	普通・やや難聴・難聴	食 事	自分で可・一部介助・全介助
言 葉	普通・少し不自由・不自由	入 浴	自分で可・一部介助・全介助
歩 行	自分で可・一部介助・全介助	着 脱 衣	自分で可・一部介助・全介助
臥床状況	普通・床に伏しがち・寝たきり (床ずれ 有・無 )		
身障手帳	有・無 ( 種 級、障害内容 )		
疾 病	有・無 (病名 通院・往診) かかりつけの医療機関名 ( 電話番号 )		
問 題 と 思われる 行 動	有・無 ( 大声をだす・はいかいする・トイレがわからない・ 乱暴な言動がある・自分の名前がわからない・ 自分の部屋がわからない・時々失禁する ) その他 ( )		
家庭介護 の 状 況 又 は 介護上の 注意事項			

3 健康保険証

健康保険証の種類	被 保 険 者 名	番 号

#### 4 利用者の世帯の状況

氏名	続柄	生年月日	勤務先等	連絡先の電話番号
	世帯主			

#### 5 緊急時の連絡先

①	氏名		電話番号	
②	氏名		電話番号	

#### 6 住居略図等（書ききれない場合は別紙を添付すること）

<p>（住居略図）</p>	<p>（住宅平面図）</p>
---------------	----------------

#### 7 備考（他の在宅福祉事業を利用している内容等を記載のこと。）

※身体の状態については、次の状態を参考として記入してください。

事項	自分で可	一部介助	全介助
歩行	◇杖等を使用して、かつ、時間がかかっても自分で歩ける。	◇付き添いが手や肩を貸せば歩ける。	◇歩行不可能
排泄	◇自分で昼夜とも便所でできる。 ◇自分で昼は便所、夜は簡易便器を使ってできる。	◇介助があれば簡易便器でできる。 ◇夜間はおむつを使用する。	◇常時おむつを使用している。
食事	◇スプーン等を使用すれば自分で食事ができる。	◇スプーン等を使用し一部介助すれば食事ができる。	◇臥床のままで食べさせなければ食事ができない。
入浴	◇自分で入浴でき洗える。	◇自分で入浴できるが、洗う時だけ介助を要する。 ◇浴槽の出入りに介助を要する。	◇特殊浴槽を利用している。 ◇清拭を行っている。
着脱衣	◇自分で着脱ができる。	◇手を貸せば着脱ができる。	◇自分でできないので全て介助しなければならない